

## 平成 17 年度油ヶ淵生物モニタリング調査概要 植物プランクトン調査

- ・ 調査時期：4～翌年3月（毎月、計12回）
- ・ 調査地点：湖内2地点（P1[下池]、P2[上池]） 図6参照
- ・ 結果

下池（P1）、上池（P2）地点の植物プランクトンの種類数及び細胞数の1年間の変化を図4に示す。

種類数、細胞数共に多く出現するのは、年間を通して珪藻綱に属する種である。その他では、一時的にクリプト藻綱に属する種（5月、12月）や緑藻綱に属する種（2月）が多く出現する時もみられた。なお、アオコの原因種である藍藻綱の出現は少なかった。

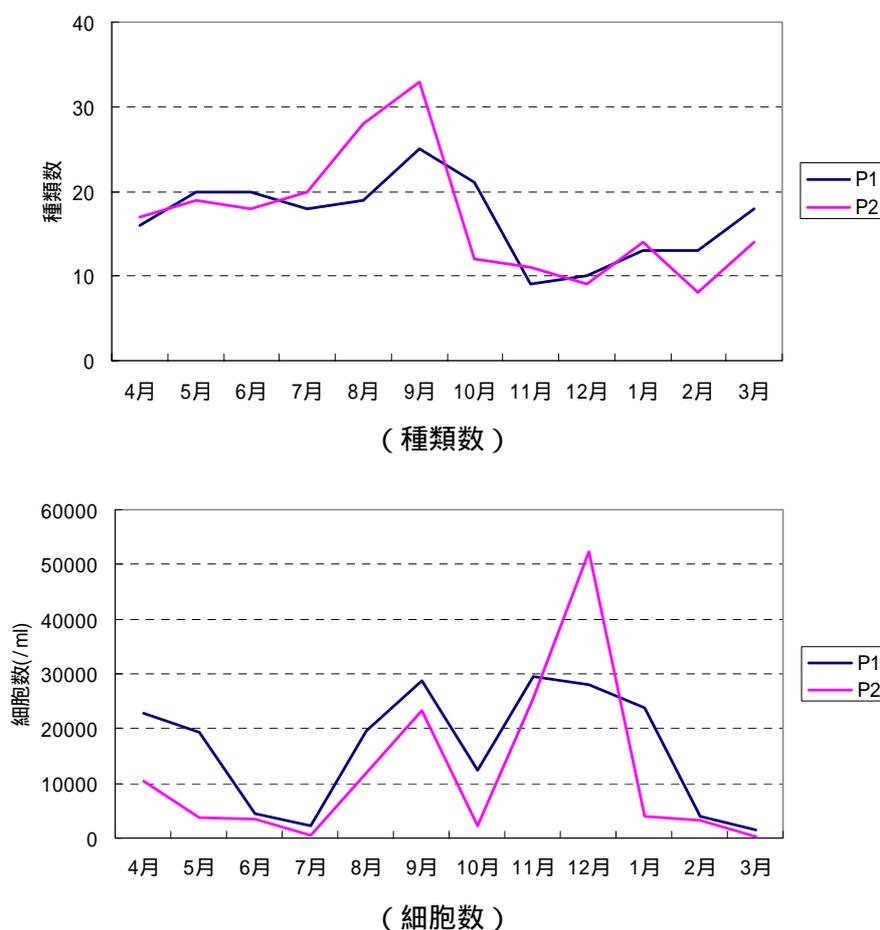


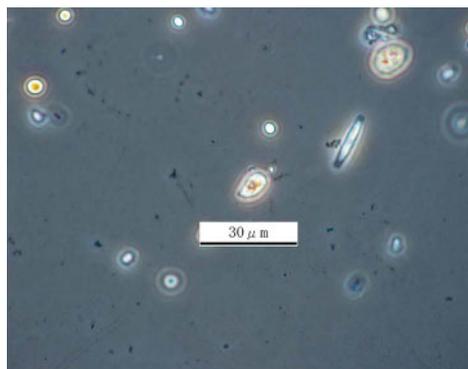
図4 植物プランクトンの調査地点別出現状況

種類数は、8～10月の多くなり、11月以降は少なくなっていた。細胞数は、1年間の内、10月に減少してはいたが、おおむね8月から12月にかけて多く、1月以降減少傾向を示

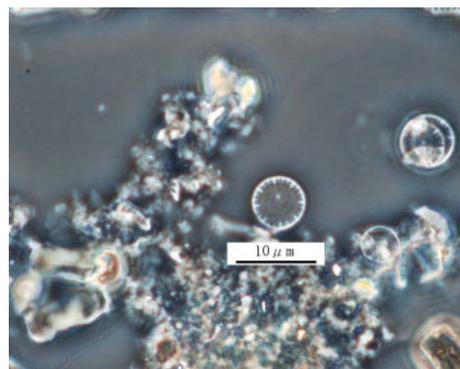
した。下池、上池では種類数、細胞数共に年間の変動傾向はおおむね同様であった。

平成 16 年度までの水質調査では、植物プランクトン量の指標となるクロロフィル a は冬季（1～3 月）に多い傾向が見られていたが、今回の結果では冬季の細胞数は少なく、これまでの傾向と異なっていた。

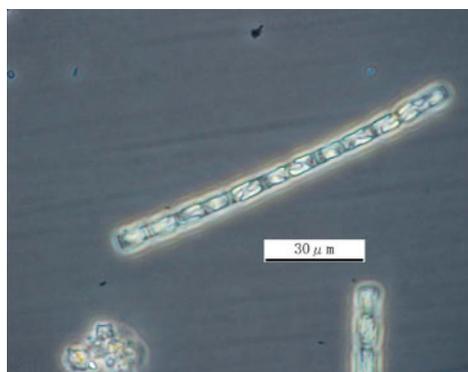
今後モニタリングを継続し、データを蓄積することで油ヶ淵における植物プランクトンの出現傾向が把握できていくものと考えられる。



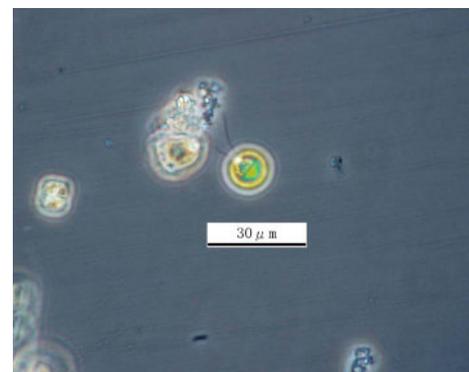
クリプト藻綱 *Cryptomonadaceae*  
(クリプトモナス科)



珪藻綱 *Cyclotella atomus*



珪藻綱 *Skeletonema subsalsum*



緑藻綱 *Chlamydomonas* sp.

図 5 油ヶ淵における主な植物プランクトン

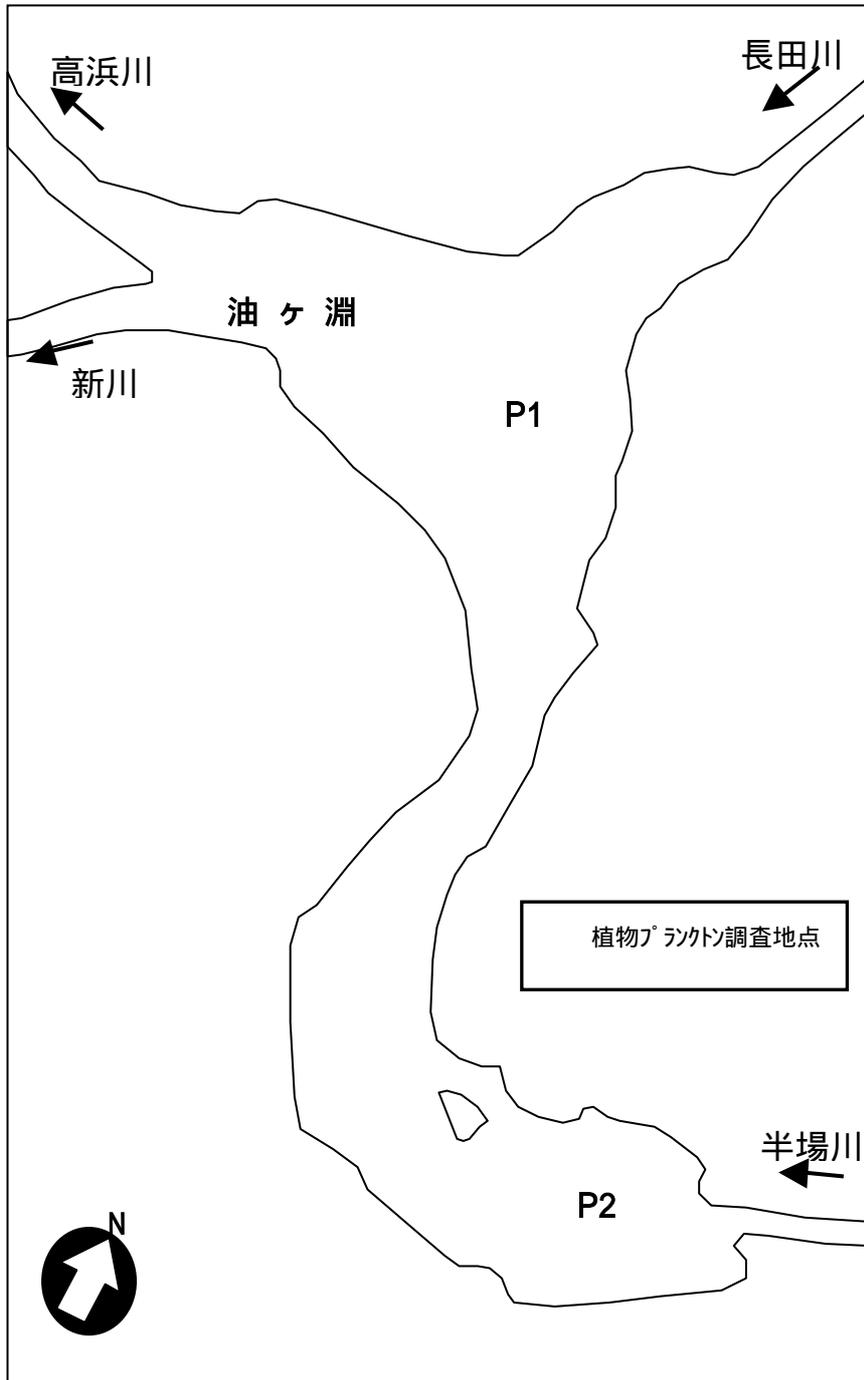


図 6 植物プランクトンモニタリング位置